

## ごみの出し方講座

### 「取り残されたゴミ袋」

周防大島町では、4月からごみの出し方が守られていないものは、収集を見合わせているよ。だから、収集を見合わせている事例について説明するよ。一番多く取り残されているものは、ごみ袋に記名がされていないものなんだ。ごみ袋への記名は以前からお願いしていたんだけど、取り残された大半が名前を書かれてなくて取り残されていたんだよ。だから、ごみ袋の記名欄に名前を絶対書いてね。次に多かったのは、黒いビニール袋で二重にされていたものだったんだ。生ごみや紙おむつ等から出る水気等に対する気遣いだったりするんだけど、黒いビニール袋で内容物が確認できなくなるので、おむつ等は新聞紙に包んだり、レジ袋を利用するなどして出すようにしてね。

詳しいことは「ごみ分別の手引き」に載っているけど、分からないときは、生活衛生課へ聞いてね。



#### 今回のポイント!

- ごみ袋の記名欄へのお名前を記入。  
4月からごみ袋へお名前の書かれてないものは、ごみ収集ステーションに取り残されています。必ず名前を書くようにしましょう。
- ごみ袋の全体を黒いビニール袋等で二重にされたものは、ごみ収集ステーションに取り残されています。生ごみの水気等が気になる場合は、新聞紙やレジ袋を利用して出すようにしましょう。

■問い合わせ 生活衛生課 生活衛生班 ☎0820 (79) 1012

穏やかな晴れの日が快く過ぎやすい季節になりました。周防大島で生活していると四季を五感で味わう機会が多く、特に春は桜、タケノコ、山菜など自然の恩恵の楽しみ方を島の方々に教えて頂いています。先月は白木山の頂上でお花見をしました。

各自一品持ち寄る形式のお花見ということになり、集まった品々は：前日に獲れたばかりの鰯の昆布押し寿司、鶏の唐揚げ、ふきの煮物、じゃこ豆、ポテトサラダ、タンドリーチキン、大島のレモンで作ったケーキなどなど。青空の下、みんなと一緒に食べるご飯は本当に美味しく、お腹が満たされるまでは完全に花より団子でした。食後落ち着いたころ、ようやく周りの桜や頂上から眺める景色の美しさに気付く、写真撮影を開始。すると、わらびがあらこちらに自生していることに気付

地域おこし協力隊員 山崎千寿の  
**しましまタイムズ**

SHIMASHIMA TIMES

28

周防大島町定住促進協議会  
☎0820 (74) 1007



▲みんなが持ち寄った豪華なお花見弁当

き、島育ちの友人に教わりながらしばし山菜採りに熱中。その後はテニスゲーム、キャッチボール、フリスビーと気の向くままに、子供のよう遊んだお花見になりました。

都会の休日とは何かとお金がかかることが多い人混みに疲れますが、島の休日はお金をかけなくてもゆったり贅沢な時間が過ごせます。これから夏に向けて、どんな島の自然を享受できるのか楽しみです。

今回の海掃除は6月6日(水)午前10時から白鳥ヶ浜で行います。ご参加お待ちしております!